

地名散歩

第111回 地図にないのに生きている「幻の地名」

一般財団法人日本地図センター客員研究員 今尾 恵介

名古屋に「大蠋螂町」という町がある。市域の西側に位置する中川区で、庄内川に面した所だ。江戸時代から大蠋螂村と称する歴史的地名だが、蠋螂はカマキリのことだから、思えば珍しい地名である。『角川日本地名大辞典』によれば「(地名は)大棟梁により、往古熱田神宮の宮大工が住んでいたことにちなむという」とあって、なるほど転訛したのかと納得しそうになるが、偉大なる大工の棟梁が「大カマキリ」に転じた経緯はよくわからない。あるいはカマキリ顔をしていたからか。

郵便番号は454-0944であるが、この番号を書く人はおそらくいない。全域が河川敷だからだ。なぜこんなことになったかといえば、旧大蠋螂町のうち人が住むエリアだけ昭和57年(1982)に字の異なる「大当郎」その他に変

更されたためだ。蠋螂の字を他人に説明するのに骨が折れるという意見に従ったのかもしれないが、そちらの郵便番号は1番違いの454-0943となる。このように河川敷だけに残っている幻の地名は全国を見渡せば意外にある。

かつて炭鉱の町として栄えた北海道夕張市は昭和35年(1960)に最大人口の11.7万人を記録したが、令和3年(2021)3月末日現在は7,302人と16分の1に激減した。もちろん戦後の「エネルギー革命」で石炭需要が大きく落ち込んだためであるが、特に山深い地域では閉山がそのまま町の終わりに直結する。夕張市でも人口はまんべんなく減ったわけではなく、大夕張炭鉱のあった夕張川沿いの鹿島地区は特に著しい。最盛期はここだけで2万人を擁し、南部地区(南大夕張)とともに夕張



大夕張炭鉱が現役で周囲が市街地として賑わっていた頃の夕張市鹿島地区。長屋らしき形状の炭鉱住宅がびっしり並んでいる。1:50,000「石狩鹿島」昭和43年資料修正



夕張スーパーダムが完成した現在。地名はなく、かつての市街は無人の森や野原と化した。湖面に見える影は湛水以前の地形。「地理院地図」令和3年5月1日ダウンロード

市から分離独立して市制施行を、という話も出たほどだが、昭和48年(1973)に炭鉱が閉山して人口が流出し、数百人にまで減少したところで夕張スーパーダム建設が決まり、その後は無人のエリアとなった。地図から地名は消え、今ではそのダムが堰き止める「スーパー湖」の文字だけが記されている。

ところが最盛期に存在した町名は、実は現在も行政字名として残っている。それぞれ「鹿島^{かしま}」を冠して鹿島明石町^{あかし}、千年町^{ちとせ}(図の「千歳町」は誤り)、錦町^{にしき}、宝町^{たから}、富士見町^{ふじみ}、緑町^{みどり}、栄町^{さかえ}、弥生町^{やよい}、代々木町^{よよぎ}、春日町^{かすが}、北栄町^{ほくえい}、常盤町^{とぎわ}、白金^{しろがね}の計13町で、かなりの部分が水面下に没した現在の人口はいずれも0だ。それでも郵便番号が7桁になった時点には少数ながら住民がいたためか番号は割り振られ、明石町は068-0662、千年町が0663、錦町が0664、宝町が0665など(以上4桁のみ)と、現在でも郵便番号検索をすると当たり前のように出てくる。

無人になった後で実際に現地を訪れた。建物はすべて撤去されていたが土台や一部の電柱、橋の残骸などは残っており、かつての町の様子をかすかに想像することはできる。石炭を運び出すために敷設された三菱大夕張鉄道大夕張駅の裏手にはこの地域の子供が通った鹿島小学校があり、最盛期には2,000人もの児童が通っていたという。1学年あたり7～8クラスのマンモス校(今ではこれも懐かしい響きだ)である。

無人の学校跡には記念碑が建てられ、「太古の森をきりひらき うもるる宝かえさんと力よほまれよ血のひびき」という、炭鉱町の学校らしい校歌の一節が刻まれていた。碑の傍らにはノートが置かれ、ここを久しぶりに訪れた住民が記した「古郷はどんな状況でも心の中に生きています。夕張、大夕張、ありが

とう。私の原点です」という言葉は忘れられない。故郷を失う寂しさは体験した人でないと本当には理解できないのだろう。

その後で図書館へ行って往時の住宅地図を閲覧した。その時のコピーが手元にある。昭和59年(1984)の図で閉山後ながら建物は多く、町の体裁は保たれていた。これによれば千年町駅前には夕張千年郵便局、鹿島駐在所、相馬屋旅館、ちとせ板金塗装、双葉食堂、その他何軒かの商店や診療所などさまざまな施設が建ち並び、さらに駅の西側には妙法寺、願正寺、大聖寺、本覚寺と各宗派4つの寺院が軒を接していた。それぞれが炭鉱町の日常を支えていたのである。

さて、福井県を流れる九頭竜川^{くずりゅう}の上流部には昭和43年(1968)に九頭竜ダムが完成した。当初は電源開発目的で、その後は伊勢湾台風で被災した九頭竜川流域の防災に力点が置かれている。ダムから上流部はほとんど人家がないが、かつては14の集落があり、多くは江戸時代からの長い歴史を持っていた。貯水面積は8.9平方キロで、集落の一部は水没を免れたものの、単独では生活が成り立たないこともあり、結局は500戸前後(資料により相違あり)が水没または撤去、補償を得て移転した。無人境を走る湖畔の国道158号と付近の県道に架かる大谷橋^{おおたにばし}、箱ヶ瀬トンネル^{はこがせ}、面谷橋^{おもだに}といった名称はいずれも水没した集落の名前である。郵便番号の設定された集落とない集落が混在しているが、設定時期にドライブインなどを含む家屋の有無が影響したのだろうか。場合によっては夏だけ人が戻る荷暮^{ぐれ}のような集落もある。

いずれにせよ集落が姿を消した今、地名は「帳簿上」の存在に過ぎず実態はない。図上には表示されず、その郵便番号を記入して手紙を出す人もいない。まさに幻の地名である。

今尾恵介 (いまお・けいすけ)

1959年横浜市生まれ。小中学時代より地形図と時刻表を愛好、現在に至る。明治大学文学部ドイツ文学専攻中退後、音楽出版社勤務を経て1991年よりフリーライターとして地図・地名・鉄道の分野で執筆活動を開始。著書に『ふしぎ地名巡り』(筑摩書房)、『地図の遊び方』(けやき出版)、『番地の謎』(光文社)、『地名の社会学』(角川選書)など多数。2017年に『地図マニア 空想の旅』で斎藤茂太賞、2018年に『地図と鉄道』で交通図書賞を受賞した。現在(一財)日本地図センター客員研究員、日本地図学会「地図と地名」専門部会主査

土地家屋調査士 C O N T E N T S

NO. 773
2021 June



表紙写真

「アンブレラスカイ」

第35回写真コンクール佳作
荒木 智子●山形会

軽井沢の梅雨の風物詩「アンブレラスカイ」。
ひと気のない早朝の時間帯を狙い、カメラマン役(妻)、アシスタント役(夫)が四苦八苦しながら撮った一枚。
涼しい顔をした愛犬がとてよく撮れたのですが、撮影している飼い主を隠し撮りした方が面白い写真が撮れたかもしれません。

地名散歩 今尾 恵介

03 「土地家屋調査士業務取扱要領」について

日本土地家屋調査士会連合会 業務部次長 浅野 裕士

04 全国土地家屋調査士政治連盟『第21回定時大会』

全国土地家屋調査士政治連盟 幹事長 佐々木 健

06 続 !! 愛しき我が会、我が地元 Vol.88

群馬会/山口会

09 「国土計画シンポジウム」

ポストコロナにおける中長期的な国土の在り方
～デジタル革命に対応した持続可能な社会・地域の構築に向けて～

11 測量機器総合保険(動産総合保険)のご案内

12 会長レポート

13 会務日誌

14 土地家屋調査士新人研修のお知らせ

15 令和3年 春の黄綬褒章

16 第36回写真コンクール開催

25 ちょうさし俳壇

26 日本土地家屋調査士会連合会業務支援システム 調査士カルテ Map

27 土地家屋調査士名簿の登録関係

29 ネットワーク50

宮城会/鹿児島会

31 2020年度「土地家屋調査士」掲載

索引 2020年4月号(No.759)～2021年3月号(No.770)

35 編集後記

「土地家屋調査士業務取扱要領」について

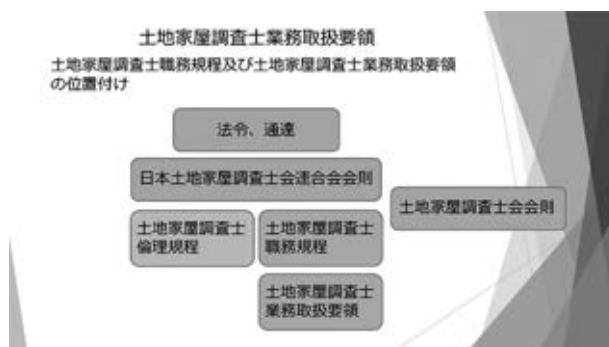
日本土地家屋調査士会連合会 業務部次長 浅野 裕士

司法書士法及び土地家屋調査士法の一部を改正する法律(令和元年法律第29号)が令和2年8月1日施行となりました。この改正法においては、近時の土地家屋調査士制度を取り巻く状況の変化を踏まえ、その専門職者としての使命を明らかにする規定を設けるとともに、懲戒権者を法務局又は地方法務局の長から法務大臣に改める等の懲戒手続に関する規定の見直しを行うほか、社員が一人でも土地家屋調査士法人の設立を可能とする等の措置が講じられたことは皆様もご存知のことと思います。

この度、日本土地家屋調査士会連合会(以下「連合会」という。)では、懲戒権者が法務大臣となり、今まで以上に全国で統一された倫理と行動規範を明らかにすることが求められており、多様な事案に対する法務大臣の一元的な指揮の下での適正・迅速な懲戒の実現と懲戒手続の合理化を図るため、土地家屋調査士職務規程(以下「職務規程」という。)を設け、土地家屋調査士倫理規程(以下「倫理規程」という。)同様、連合会会則の下に位置づけるとともに、全国で統一の要領を作成する必要があるため、「土地家屋調査士業務取扱要領」(以下「業取要領」という。)を定めたものです。

今までは、「調査・測量実施要領」(以下「調測要領」という。)を連合会が作成しており、同要領を定めるか否かは土地家屋調査士会(以下「調査士会」という。)に委ねられていました。昨年度に実施したアンケート結果の集計によると、調測要領を会則に位置づけている調査士会が25会、位置づけていない調査士会が15会、独自の要領を位置づけている調査士会が10会と統一されていないのが現状でした。

また、今までの調測要領というのは、技術基準や技術指針、土地家屋調査士はこうあるべきであるといった事柄が多く示されており、土地家屋調査士のバイブルとして運用していましたが、この度の業取要領は、懲戒権者が法務大臣になるため、全国で統一した要領という観点から、地域における慣習や社会的慣行等を鑑みて、基本的な規則を定めたものとなっております。測量調査における技術基準や技術指針等については、今後、業取要領の下にマニュアル等を整備していこう



と考えています。

この度の業取要領作成に当たっては、全国統一の内容ということで、全国8ブロック協議会から委員を推薦いただき、連合会業務部役員と委員の皆様が様々な意見を交換し、議論を重ねてまいりました。あるブロックでの常識が他のブロックでは非常識という事柄もあり、土地家屋調査士の業務が多種多様で、全国統一の要領を作成する難しさを痛感しました。

調測要領とは異なる位置づけとなっておりますので、今まで調測要領を会則に位置づけていた調査士会の会員におかれましては、戸惑いもあるかと思いますが、これから作成する予定のマニュアル等も含めて、ご確認いただきたいと思います。

今後は、職務規程と倫理規程で重複する内容の条文について、統合することも検討していきたいと考えています。また、マニュアル等の作成については、現時点で連合会が作成しているマニュアル等の精査を行い、業取要領の下に設けるマニュアル等のみならず、整理・改訂する必要もあり、地域における慣習や社会的慣行等を考慮すると、事例集等の作成も検討しているところです。

簡単ではありますが、業取要領の作成経緯について触れさせていただきました。業取要領については、全ての土地家屋調査士会員宛てに冊子を送付するとともに、連合会ウェブサイト「会員の広場」内において、PDFデータを公開しておりますので、まずは、ご一読いただきますよう、お願いいたします。また、この場をお借りしまして、業取要領の作成に関わっていただいた委員・役員の皆様に、感謝・御礼申し上げます。

全国土地家屋調査士政治連盟『第21回定時大会』



令和3年3月17日(水)例年どおり東京都千代田区平河町の都市センターホテル「オリオン」において、全国土地家屋調査士政治連盟「第21回定時大会」が開催された。

コロナ禍の中での開催のため、開催について慎重に検討を行った。しかし、今大会は役員改選があり、ウェブ会議等の規約改正もあるため開催することとした。

大会構成員は、全国土地家屋調査士政治連盟(以下「全調政連」という。)役員22名、各土地家屋調査士政治連盟会長・代議員52名の合計74名のところ、コロナ禍のため出席者は全調政連役員21名、会長・代議員39名、委任状11名であり、大会は成立した。

大会の始めに、椎名会長が挨拶に立ち、コロナ禍の厳しい状況の中定時大会が開催されることについて感謝の意を述べ、同時に昨年10月26日東京国際フォーラムで開催された全国土地家屋調査士政治連盟制度制定20周年記念シンポジウムが成功裡に行われたことに全国の調政連に感謝の意を述べた。

その後、任期満了に伴い就任以来、土地家屋調査士の社会的、経済的地位の向上を目標に様々な活動を行ってきたこと、特に防災・減災・国土強靱化に寄与する狭隘道路解消と官民境界確定事務の民間委



託を促進する法的環境整備に注力、各党の議員連盟に所属する300名の国会議員の先生方に資料を持参し、説明した結果、住生活基本法第15条に規定する住生活基本計画に「狭隘道路の現状を分析し、重点地区を把握し、対策を促進する」旨の文言が初めて盛り込まれたことの報告。また、昨年2月初めに国の入札業務区分に登録関連業務の項目が設けられ、公共調達の受皿として初めて公に認められることになったことなどが報告された。

各調政連においては、各地方自治体の入札区分に登録関連業務を加えていただけるよう活動することをお願いをした。

土地家屋調査士制度は昨年、制度制定70周年、政治連盟は本年設立20周年を迎えた。振り返れば、植木庚子郎先生を始め先人が20有余年にわたる弛まぬ活動の末、土地家屋調査士法が成立された。

改めて先人に敬意を表し、連合会や全公連と一致団結して土地家屋調査士制度の改革推進及び業務拡大につながる活動をしてきたことを報告した。

次に、福島調政連の橋本豊彦会長が議長に選出され、令和2年度活動・運動報告を幹事長・幹事長代理・各委員が行い、質疑応答の後、議場に諮り異議なく承認された。

引き続き議事に入り、第1号議案「令和2年度収入支出決算報告書承認の件」が上程され、会計責任者が提案理由を説明、続けて監事が監査報告を行っ

た。質疑応答の後、議場に諮り原案のとおり承認された。

第2号議案「令和3年度運動方針(案)」と第3号議案「令和3年度収入支出予算(案)」は関連があるため一括上程され、幹事長及び会計責任者が提案説明を行った。質疑応答の後、議場に諮り両議案とも原案のとおり承認された。

第4号議案「全国土地家屋調査士政治連盟規約の一部改正(案)」が上程され、担当副会長から提案説明を行った。質疑応答の後議場に諮り原案どおり承認された。

第5号議案「役員選任」が上程され担当副会長、続いて役員選任管理委員長から説明を行った。議長から会長に千葉調政連、椎名勤会員が決定したことを宣告された。

引き続き副会長・副幹事長・会計責任者・会計責

任者職務代理者・監事・予備監事の各候補者を発表し、議場に諮り可決承認された。

その後、椎名新会長から幹事長・副幹事長の指名があり、続けて議場に諮り承認された。

新執行部のお披露目の後、椎名新会長の力強い決意を示す挨拶があり新執行部一同新たな気持ちで活動することになった。

本来であれば、ご来賓を招待し、祝辞を頂き、大会後懇親会が行われ、華やかで楽しい大会になる予定のところ、コロナ禍で緊急事態宣言も発令されているため、少し寂しい大会となりましたが、皆様のご協力を得て無事に終了できましたこと、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

文責：全国土地家屋調査士政治連盟

幹事長 佐々木健

全調政連新役員

	氏名	所属調政連	所属ブロック
会長	椎名 勤	千葉	関東
副会長	上田 尚彦	神奈川	関東
	加藤 幸男	大阪	近畿
	早川 正敏	愛知	中部
	馬場 幸二	鹿児島	九州
	高山 吉正	岡山	中国・四国
	北方 享一	札幌	東北・北海道
幹事長	佐々木 健	神奈川	関東
副幹事長	栗田 隆司	静岡	関東
	信吉 秀起	京都	近畿
	高本 茂	富山	中部
	当銘 盛光	沖縄	九州
	木戸 芳己	島根	中国
	山本 明宏	愛媛	四国
	橋本 豊彦	福島	東北
	佐藤 彰宣	札幌	北海道
	高橋 宏明	千葉	関東
	今井 秀明	広島	中国
会計責任者	久保田英裕	千葉	関東
会計責任者 職務代行者	豊田 武文	千葉	関東
監事	貫渡 利行	奈良	近畿
	森 和夫	香川	四国
予備監事	松本 誠吾	長野	関東

愛しき 続!! 我が会、我が地元

Vol. 88

群馬会 『上毛かるた』

群馬土地家屋調査士会 広報事業部長 吉野 清明

我が会、地元群馬には「上毛かるた」という、昭和22年に発行された群馬を代表する「郷土かるた」があります。群馬県の名所旧跡や郷土から輩出した偉人を詠んでおります。ちなみに『上毛』とは群馬県の古称であります。地元出身タレントの中山秀征さんや井森美幸さんもこの「上毛かるた」を良く紹介しています。「あ」から始まり「わ」まで44枚の絵札を取り合う、地元では小さい頃から馴染みがあり、各所で大会などを催しております。ゆえに群馬県人は、かるたの絵札の詠み方を覚えているといわれています。全て覚えていない人は群馬県人とはいえません!

今日は群馬会の10支部ある中で、私の所属する沼田地方の「かるた」の札をご紹介します。そして、昨年度行った出前授業について寄稿します。

「今日は、天気が良く赤城山がキレイに見えますね。」
といえ「裾野は長し赤城山」のフレーズが直ぐに思い浮かびます。沼田市は赤城山の北西に位置し古くから木材の集積地であり、市場町として発達した北毛の中心都市であります。歴史的には沼田城の城下町で大河ドラマの「真田丸」にもあるように、戦国末期には真田昌幸・信幸の領有にもなりました。江戸時代は沼田藩となり、最盛期には3万5千石でした。

また、「ぬ」の札には、「沼田城下の塩原太助」と詠まれています。塩原太助は、19歳のときに江戸に旅立ちました。仕事を見付けられず途方に暮れていたところ、炭屋の主人に出会います。この主人の厚意によって炭屋で奉公を始めた太助は、朝から晩まで勤勉に働きました。その姿は「奉公人の鑑」といわれるほどだったそうです。長年にわたる奉公の後、自らの店を構えた太助。江戸屈指の炭商人となっても、豊かな暮らしに甘んじることなく、こつこつと働き続けました。

さらに、太助の偉大なところは、稼いだお金を人々のために使い、世のために尽くしたことです。榛名湖町の天神峠には、太助が寄進した常夜灯が今も残っ

ています。この常夜灯は、闇夜に峠越えをする旅人にとって、とても心強い存在になったのだとか。太助はほかにも、悪路を補修したり、無料の休憩所を街道に作ったり、多くの私財を公益事業へ投じました。太助がずっとかわいがってきた馬の「あお」に別れを告げ江戸へ旅立つところは名場面として知られ、「上毛かるた」の札にはその場面が描かれています。

次に「て」の札です。「天下の義人 茂左衛門」と詠まれています。茂左衛門は三百年以上前の人です。その頃、沼田藩の領民は、厳しい税の取り立てに苦しめられていました。年貢の納められない家にはお年寄りから子どもまで容赦なく罰が与えられ、餓死してしまう百姓や、田畑を捨てて逃げる者までいました。こうした惨状を何とかしようと立ち上がったのが、茂左衛門でした。藩主の悪政と領民の困窮を訴えた書状を携えて、江戸へ向かったのです。当時、将軍に直訴することは重罪、それは命懸けの行動でした。将軍はいわば雲の上の存在。会うことはおろか、お城に入ることもできません。茂左衛門は知恵を絞り、金菊の紋を描いた文箱を用意しました。そして、この文箱に大事な訴状を入れ、わざと茶屋に置き忘れるのです。文箱を見付けた茶屋の亭主は、金菊の紋を見て宮家の忘れ物だと思い、東叡山輪王寺宮へと届けました。こうして東叡山輪王寺宮から将軍、徳川綱吉の手に訴状が渡り、茂左衛門は直訴に成功したのでした。



最後に広報活動として令和元年度(令和元年12月9日)、群馬県立利根実業高等学校で出前授業を実施しました。測量は授業で行うため、杭を打つ作業を教えてほしいとの要望があり、実際に杭を打つ作業を中心に行いました。当日は、協力していただいた会員の方々も生き生きと生徒も興味津々、普段そんなにハンマーやかけやを振りますか?という会員の方もいました。

群馬テレビでの放映、上毛新聞への掲載等、本来の目的である「若い世代に土地家屋調査士という職

業に興味を持っていただき、土地家屋調査士を目指す人材の底上げ、土地家屋調査士の知名度を上げ、更に業務への理解をしていただき、円滑に業務を遂行する」等は達成できたと思います。

群馬県沼田市は、沼田城址公園の他にも東洋のナイアガラといわれる「吹割の滝」や珍しい地形の「河岸段丘」、食べ物、リンゴやサクランボ等を観光としています。是非、群馬にお越しください。



山口会 『「世界遺産」の建物表題登記』

山口県土地家屋調査士会 70周年記念事業実行委員会委員長 白石 龍二

我が会では、制度制定70周年の記念プロジェクトとして、世界遺産である「松下村塾」と、その隣りにある「吉田松陰幽囚ノ旧宅」の建物表題登記を行いました。

「松下村塾」は、幕末期に吉田松陰先生が主宰した私塾です。明治維新の原動力となり、また明治新政府で活躍した多くの逸材を輩出しました。「吉田松陰幽囚ノ旧宅」は、吉田松陰先生の実家である杉家の旧宅であり、その一角に松陰先生が謹慎された三畳半の幽囚室があります。

この二つの建物は平成27年に世界遺産として登録されました。この建物は未登記であったため、所有者である松陰神社のご協力の下、記念プロジェクトとして表題登記をさせていただくことになりました。

普段、建物内は立ち入りできないのですが、この

度は調査のため、特別に立ち入りを許可していただきました。松下村塾は平家建てですが屋根裏部屋があり、そこで松陰先生がよく昼寝をされていたという大変貴重なお話も伺うことができました。

この登記における課題は、登記記録に「松下村塾」「吉田松陰幽囚ノ旧宅」の名を入れることでした。種類として登記できないか再三法務局と協議しました。結果としてそれはできませんでしたが、苦肉の策として建物の名称を付け、「松下村塾」「吉田松陰幽囚ノ旧宅」としました。登記記録に「松下村塾」「吉田松陰幽囚ノ旧宅」の名が記載され、松陰神社の宮司さんに大変喜ばれました。

プロジェクトの最終目標は、広報活動につなげることでした。考え抜いた結果、マスコミに取り上げ

てもらえるよう、登記成果品の贈呈式を行うことにしました。

去る4月9日に贈呈式は無事執り行われ、贈呈後は本殿横に記念植樹も行いました。この様子は会員の尽力により、地元放送局でニュースとして放送されました。

会長のインタビューも放送され、広報活動としても目的を果たせたと思います。

実行した役員は大変でしたが、世界遺産を登記する機会はなかなか無いので、良い記念事業となりました。ちなみに、ウィキペディアにも建物の構造や当会が表題登記した旨が記載されています。「松下村塾」でぜひ検索してみてください。

なお、並行して「山口県のへそ」として、県の重心

点を整備するプロジェクトも行っておりましたが、このプロジェクトも取材を受け、放送していただけることになりました。多くの方のご理解とご協力により、充実した広報活動を行うことができ、大変感謝しております。

山口県は、本州の西端に位置し、三方を海に囲まれ、穏やかな多島海美の「瀬戸内海」と、荒々しい浸食海岸美の「日本海」という異なった表情が楽しめる場所にあります。また、山間部には、国最大のカルスト台地と鍾乳洞を持つ「秋吉台国定公園」、原生林と渓谷美の「西中国山地国定公園」など、四季折々に変化に富んだ顔を見せてくれる、観光には最適なところです。山口県にお越しの上、松下村塾を始めこれらのすばらしい場所を是非訪れてみてください。

山口県松山市大字藤原1537-1-1		全国事項簿第2502010025687	
表題部	（主である建物の表示）	調製	（注）
所在地	（注）		
所在地	秋吉台国定公園内 1537番地1 建物の名称：松下村塾	（注）	
家屋番号	1537番1の1	（注）	
①種類	②構造	③床面積	㎡
記念館	本造りわらびき平家屋	45	51
所在地	山口県松山市大字藤原1537番地1 松 隆 社		

山口県松山市大字藤原1537-1-2		全国事項簿第2502010025688	
表題部	（主である建物の表示）	調製	（注）
所在地	（注）		
所在地	秋吉台国定公園内 1537番地1 建物の名称：古田松樹園	（注）	
家屋番号	1537番1の2	（注）	
①種類	②構造	③床面積	㎡
記念館	本造りわらびき2階建	1階 228	25
		2階 35	52
所在地	山口県松山市大字藤原1537番地1 松 隆 社		



松下村塾を測量する当会会員



植樹した「神代曙」を囲んで

「国土計画シンポジウム」

ポストコロナにおける中長期的な国土の在り方 ～デジタル革命に対応した持続可能な社会・地域の構築に向けて～

今回、基調講演をしていただいた中村彰二郎先生が、現在、会津若松市にある「AiCT」に事務所を構えているのがアクセンチュア株式会社ということを事務局が知っていたのかどうかは不明ですが、シンポジウムにオンラインで参加した。

まず、国土交通省より、「国土の長期的な展望」ということで、国土政策局長中原淳様から報告がされた。「人口減少の進行」、「急速な少子高齢化」、「地球温暖化による気候変動」と、数年前からいわれていることである。昨年ぐらいからいろいろな場面で「SDGs」持続可能な開発目標のスローガンが広まってきた。国全体として、前向きに進んでほしいと思う。

基調講演では、「デジタル民主主義と新たなエリアマネジメント」ということで、アクセンチュア株式会社 アクセンチュア・イノベーションセンター 福島 センター共同統括マネジング・ディレクターの中村彰二郎先生からお話された。

私の地元、会津若松市では、2011年より、アクセンチュア株式会社・会津若松市・会津大学の三者で連携協定を締結し、将来に向けた持続可能な街づくりを目指し、スマートシティ計画を策定し、産官学連携のプロジェクトを推進している。地域の新たな雇用につながる産業の創出、街づくりを支援するため「スマートシティ AiCT」をオープンさせた。

機能移転プロジェクトとして、首都圏の企業から32社、約400名の雇用、移転となる。今後設置されるデジタル庁の機能の一部もここに入るかといった報道もされている。

講演の中で、地方創生や、福島ならではの震災復興ということで「自立分散社会」という言葉が出てきた。地方の特性を活かしつつ、高い競争力を持つ製品、サービスを創出。産官学による人材育成を行う。都市部への一極集中から、機能分散社会への転換、テレワークを推進して、地方への移住促進など、これらを市民主導により行い、地域を自立させていこうと考えているとのこと。

会津地域の先端デジタル技術やサービス実証フィールドとしての特性を活かし、地方創生モデルを推進し、高付加価値な業務や成長産業を地方に根付かせ、競争力の高いサービスを地方から全国に向けて展開していく。これまでの産業構造では、首都圏で戦略を考え、大都市で開発、営業をして地方や海外では、工場やコールセンターの立地といったものが一般的なようだ。この首都圏の高付加価値機能の一部を地方へ移転し、次世代を担う産業を育てる。その後、地方経済の方向性を今までの産業に新しい産業を加えて育てていこうとのことだ。

このようなことを発展させ、産業以外にもモビリティ(移動)、地元で経済を回すためのキャッシュレス決済、教育、ヘルスケア、エネルギー、観光(インバウンド)、食と農業、ものづくり、防災といったものを「スマートシティ」によって連携し、より良い地方を作っていくと、市民参加型の街づくりを推進している。

スマートシティを発展させ、今後は人間中心の地域DXといったものが出てくる様々な主体同士がデジタル(オプトイン&パーソナライズ)でつながり、個人が自立しつつも、地域として一体感があるコミュニティが形成され、デジタル共助社会が実現されていくというものである。これが進んでいくと、今の地方自治体の分割ではなく、普段の生活圏から導き出した新たなエリア「275デジタル生活圏」といったものも考えられている。

最後にパネルディスカッションが開催され、6人の方が話をされていたが、2人の方がリモートでの出演であった。瀬田史彦先生(東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻准教授)は、リモートならではのパネルディスカッションの掛け持ちということで、ここで出演された後に、17時から違う会議に出演とのことだった。また、テレワークの会社を経営されている田澤由利先生(株式会社テレワークマネジメント代表取締役)は、住んでいるところは北

海道とのことであるが、今回のパネルディスカッションは、実家のある奈良県からの出演であった。会社のオフィスの状況(リモートオフィス)も見せていただいた。

今回の講演、一見、土地家屋調査士とはあまり関係がないものにも感じていたが、報告書を書いてみ

ると、まったくの無関係ではなく、いろいろ勉強していかなければと感じた。

まずは、「AiCT」の中にある食堂に行って、ランチでも食べてみたいと思う。

広報員 渡部宏(福島会)



測量機器総合保険

(動産総合保険)

のご案内

日本土地家屋調査士会連合会共済会 測量機器総合保険の特徴

「土地家屋調査士賠償責任保険」とは異なりますのでご注意ください。

会員が所有・管理する測量機器(製品No.のある機器に限る)について

業務使用中、携行中、保管中等の
偶然な事故による損害に対し、
保険金をお支払いします。

特徴1

例えば

1

測量中誤って
測量機器を倒し壊れた。



2

保管中の測量機器が
火災にあい焼失した。



3

測量機器を事務所、
自宅等に保管中に
盗難にあった。



等

特徴2

個別にご加入されるよりも保険料が割安です。

保険金額200万円の保険料

測量機器総合保険(本制度): 34,780円

動産総合保険(個別加入): 64,800円

※縮小支払割合90%、免責15万円適用

約47%
割安

このチラシは動産総合保険の概要をご説明したものです。詳細はパンフレット等をご覧ください。
ご加入ご検討の方、パンフレットをご希望の方は桐栄サービスまたは三井住友海上までご連絡ください。

保険期間

2021年4月1日午後4時から2022年4月1日午後4時まで

※保険期間の中途での加入もできますので、ご希望の場合には桐栄サービスまでご連絡ください。

お問い合わせ先

日本土地家屋調査士会連合会共済会

取扱代理店

有限会社桐栄サービス

東京都千代田区神田三崎町1丁目2-10

土地家屋調査士会館6F

TEL 03(5282)5166

引受保険会社

三井住友海上火災保険株式会社

広域法人部営業第一課

東京都千代田区神田駿河台3-11-1

TEL 03(3259)6692

B20-102595 2022年4月1日

会長レポート

R E P O R T

4月16日
～5月15日

4月

16日

塩崎恭久衆議院議員 第65回「塩崎恭久と明日を語る会in東京」

塩崎恭久衆議院議員の「明日を語る会」に出席いたしました。コロナ禍の中、感染防止策を徹底した開催となりました。お話の中にもコロナ対応の話題もあり、ワクチン接種も含め、まだまだ先の長い対応が必要です。これからもよろしくお願いいたします。

17日

伊能図完成200年記念式典及び記念落語会

伊能図完成200年記念式典に出席いたしました。改めて当時の測量技術の高さを実感するとともに、2001年元旦に伊能ウォークに参加し、日比谷公園にゴールしたことを懐かしく思い出しました。また、立川志の輔師匠の伊能忠敬に関する創作落語が披露されました。

19日

研修体制及び研究所の在り方に関する打合せ

今後の連合会の体制づくりの中でも重要課題である、研修体制・研究所構想について議論いたしました。対外的な研究会・審議会等への対応も含め、連合会のシンクタンク的な組織の構築をしなければならないと思っています。

22日

令和3年度予算(案)に関する打合せ

令和3年度の予算案について、財務部との意見調整を行いました。

第2回正副会長会議

第1回理事会の審議事項・協議事項について精査いたしました。第78回連合会総会についても、最大限のコロナ対策を行い開催にこぎつけられるよう確認いたしました。

22日、23日

第1回理事会(電子会議出席者あり)

第1回理事会を開催いたしました。決算報告、事業計画・予算案等、第78回連合会総会へ提出する議案を中心に審議いたしました。また、次期へ引き継ぐ事案等協議いたしました。現執行部における最後の定例理事会となりました、副会長、理事、監事、事務局の皆さん、2年間ご苦勞様でした。コロナ禍の中、様々な苦難を乗り越えて、2年間で成し遂げた成果は、これからの皆さんの力となるものと確信しています。それぞれの立場での皆さんの今後の活躍に期待しています。ありがとうございました。

23日

第2回監査会(会計監査)

第2回監査会を行い、監事の皆さんに、会計監査と今年度の監査報告をいただきました。理事会等に出席いただき講評をいただいたり、様々な事案に対するご意見等本当にありがとうございました。



広報キャラクター「地蔵くん」

4月

22日

第2回正副会長会議

<協議事項>

- 1 令和3年度第1回理事会審議事項及び協議事項の対応について

22日、23日

第1回理事会(電子会議出席者あり)

<審議事項>

- 1 令和3年度日本土地家屋調査士会連合会被顕彰者について
- 2 令和2年度一般会計及び同特別会計収入支出決算報告について
- 3 日本土地家屋調査士会連合会ホームページ運用要領の一部改正(案)について
- 4 令和4年度土地家屋調査士新人研修の会場について
- 5 令和3年度事業方針大綱(案)及び同事業計画(案)について
- 6 令和3年度一般会計及び同特別会計収入支出予算(案)について
- 7 第78回定時総会提出議案について

<協議事項>

- 1 日本土地家屋調査士会連合会役員給与規程及び日本土地家屋調査士会連合会旅費規程の一部改正に伴う関係規則の一部改正(案)について
- 2 令和4年度に実施予定の「土地家屋調査士事務所形態及び報酬に関する実態調査」について
- 3 令和3年度第2回土地家屋調査士新人研修の実施について
- 4 法務省不動産登記法第14条地図作成作業規程解説書について
- 5 研究所の今後の在り方について
- 6 第78回定時総会の対応等について

第1回理事会における業務執行状況の監査

23日

第2回監査会(会計監査)

26日

第1回業務部会(電子会議)

<協議事項>

- 1 土地家屋調査士業務取扱要領について
- 2 マニュアル等の作成・改訂について
- 3 登記測量に関する事項について
- 4 土地家屋調査士事務所形態及び報酬に関する実態調査について
- 5 土地家屋調査士業務情報の利活用と拡充への対応について
- 6 令和3年度予算(案)及び事業計画(案)説明要旨について

第1回地図対策室会議(電子会議)

<協議事項>

- 1 法務省不動産登記法第14条地図作成作業規程の解説書の改訂について

5月

11日

第2回地図対策室会議(電子会議)

<協議事項>

- 1 法務省不動産登記法第14条地図作成作業規程の解説書の改訂について
- 2 会報に掲載する記事の執筆について

13日

第1回編集会議(電子会議)

<協議事項>

- 1 会報の編集及び発行に関する事項について



広報キャラクター「地識くん」

土地家屋調査士新人研修のお知らせ



令和3年度第2回土地家屋調査士新人研修を下記のとおり予定しております。

記

- 開催日時 令和3年10月6日(水) 午後0時40分開始
令和3年10月8日(金) 午後4時終了
※都合により、開始及び終了の時刻が変更となる場合があります。
- 開催場所 「つくば国際会議場」
茨城県つくば市竹園2-20-3
- 受講対象者 (1)令和3年4月2日から同年6月30日までに登録した会員
(2)令和2年12月10日から令和3年4月1日までに登録した者のうち、新人研修未修了の会員
(3)令和2年12月9日以前に登録した者のうち、新人研修未修了の会員
- 必要書類の提出先 所属する土地家屋調査士会を通じて連合会に提出してください。提出期間及び方法につきましては、所属する土地家屋調査士会にお問い合わせください。
- その他 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況等により、予定が変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



広報キャラクター「地識くん」

令和3年 春の黄綬褒章

おめでとうございます。



黄綬褒章

阿相 功（函館土地家屋調査士会）

昭和57年に土地家屋調査士登録、土地家屋調査士歴39年
函館会理事、同常任理事、同副会長を歴任
令和2年法務大臣表彰等、77歳



黄綬褒章

加藤 栄一（福井県土地家屋調査士会）

昭和56年に土地家屋調査士登録、土地家屋調査士歴40年
福井会理事、同副会長、同会長を歴任
令和2年法務大臣表彰等、71歳



黄綬褒章

川口 吉雄（和歌山県土地家屋調査士会）

昭和58年に土地家屋調査士登録、土地家屋調査士歴38年
和歌山会理事、同常任理事、同副会長、同会長を歴任
令和2年法務大臣表彰等、62歳



黄綬褒章

菊池 直喜（岩手県土地家屋調査士会）

昭和55年に土地家屋調査士登録、土地家屋調査士歴41年
岩手会理事、同副会長、同会長を歴任
令和2年法務大臣表彰等、65歳



黄綬褒章

橋本 豊彦（福島県土地家屋調査士会）

昭和54年に土地家屋調査士登録、土地家屋調査士歴41年
福島会常任理事、同副会長、同会長を歴任
令和2年法務大臣表彰等、68歳



黄綬褒章

藤本 睦（広島県土地家屋調査士会）

昭和57年に土地家屋調査士登録、土地家屋調査士歴39年
広島会理事、同常任理事、同副会長、日調連理事を歴任
令和2年法務大臣表彰等、64歳



黄綬褒章

荻原 照光（宮崎県土地家屋調査士会）

昭和56年に土地家屋調査士登録、土地家屋調査士歴39年
宮崎会理事、同常任理事、同副会長、同会長を歴任
令和2年法務大臣表彰等、69歳



黄綬褒章

谷内 廣（石川県土地家屋調査士会）

昭和46年に土地家屋調査士登録、土地家屋調査士歴49年
石川会理事を歴任
令和2年法務大臣表彰等、70歳

※受章者の年令・歴は、令和3年4月29日
発令日現在です。

第36回

写真コンクール 開催

日本土地家屋調査士会連合会及び共済会では親睦事業の一つとして、恒例の写真コンクールを開催しました。

今回は、「調査士ノ目線部門」と「自由部門」の二部門制で募集を行ったところ、たくさんのご応募をいただきました。

趣深い観点から審査いただいた公益社団法人日本写真家協会名誉会員の木村恵一先生に、各入賞作品に選評をいただきましたので、ご紹介いたします（は一もに一賞を除く。）。



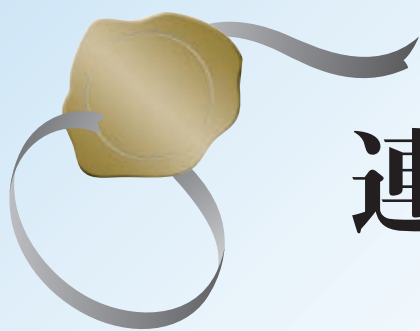
また、入賞、入選及び佳作作品の一部は、本誌「土地家屋調査士」の表紙に採用させていただきます。皆様も是非ともこのコンクールに参加して、ご自身の写真で会報を飾っていただけるのはいかがでしょうか。

本紙面において、ご応募された全ての方々と、審査及び総評をいただきました木村先生に感謝申し上げますとともに、次回も多くの方からのご応募を心からお待ちしております。

総 評

日本土地家屋調査士会連合会の写真コンクールは、36回目を迎えました。思えば36年前、第1回の写真コンクールでは、応募された作品点数は60点程度だったことを記憶しています。その後、入賞及び入選作品が定時総会の会場に展示されるようになりました。さらに、平成16年度から入選作品が季節等に合わせて会報の表紙に掲載されるようになったこともあり、俄然応募点数が多くなってきました。しかし、今年は新型コロナウイルスの感染が拡大したこともあり、応募数が減るのではと案じていましたが、逆に例年を上回る応募があり、驚いております。在宅の日が多いこともあり、ファミリーな楽しい写真が多かったことも今年の特徴でした。来年はコロナ禍も静まり、また楽しく優れた多くの作品に出会えることを期待しております。

（審査員 木村 恵一）



連合会長賞



「良きかな」

折田 孝夫(大阪会)

コロナ禍の中、よく晴れた日に公園へ散歩に出掛けて隣人に出会ってもゆっくり会話もできない時代。そんな様子を愛犬が「もう少しゆったりした気持ちで生きましょうよ。」と笑顔で慰めてくれた。顔をしながらゆっくり青空の空気を吸って愛犬を撮ったのでしょう。愛犬の表情に思わず見る方も笑顔になるような素敵な写真です。

調査士ノ目線部門

金賞



「コロナ下の出前授業」

植山 武俊(千葉会)

小学校では、長らく続くコロナ禍でクラブ活動や出前授業等が大きく制限されている中で、久しぶりに行われた出前授業のようですね。真剣な目つきで平板測量機アリダートで授業する生徒の姿をアップで撮り、製図する姿をしっかりとカメラアングルで記録しました。帽子の下目とマスクの姿が印象的です。

自由部門

金賞



「父ちゃん、腹減った」

神長 正昭(茨城会)

サンコウチョウのオスは、身体の3倍もある10センチ程の尾を持っていて、コバルトブルーのアイリングは薄暗い林や森の中で妖しく輝きます。子育ての邪魔にならないよう600ミリの超望遠レンズを使用して、雛が餌をねだる様子を、プロ写真家並みのテクニックとシャッターチャンスで、瞬間を見事に捉えました。

銀賞

「杭の在庫確認」

椎名 恵(茨城会・補助者)

事務所の裏なのでしょうか。積み上げた杭の上下で遊ぶ猫。一見何の変哲もない光景に見えますが、題名を見て思わず笑ってしまいました。写真にとって題名がいかにかに大切かを教えてください。杭の上の猫が監視し、下の猫が在庫を数えているように見えてきます。咄嗟のアイデアで撮ったことが成功しました。



自由部門

銀賞



「初めての雪」

船津 学(長崎会)

佐世保では子供達にとっては初めての大雪で、夢中になって兄弟で作った雪だるまが素晴らしいですね。出来のよい雪だるまと記念写真を撮られる姿が、照れながらも自信満々のようです。すぐ雪解けしないのでできるだけ長く置いてあげたいですね。子供達の記録写真としても最高のものです。

自由部門

銀賞



「湖畔をひとり占め」

小川 哲也(埼玉会)

素晴らしい風景写真です。秋の空と猪苗代湖をひとり占めするなんて贅沢で幸せな空間です。かすかに聞こえてくる湖のさざ波が子守歌のように聞こえてくる空間をそっと背後から撮りました。言葉はなくてもキャンプ地での豊かな時間が写し出されています。



自由部門

銅賞

「真っ赤に染める」

楠原 良則(岡山会)

世界最大級の瀬戸大橋の夕日は美しさが売りもので、多くのカメラマンが様々な形で挑戦しています。その夕日の美しさを最大限に表現しようと、超望遠レンズを使用して橋の中央近くに落ちる太陽を大胆に直撃しました。橋上を行く車のシルエットが印象的です。次回は橋下段を列車が通過するチャンスを狙ってください。



自由部門

銅賞

「食べたいの！」

若林 希久代(三重会・事務局職員)

まっ黒なソフトクリームなんてあるのですね。竹炭を使ったもののようですが普通の味で歯も黒くならないようです。カートに乗せられた愛犬が怪訝そうな目で見つめる様子がよく撮れている楽しい写真です。でも、人間も食べるのにはちょっと勇気がいりますね。



自由部門

銅賞

「夫婦さくら」

平野 肇(愛知会)

おもしろい計画の記念写真です。満開の桜の下で、昨年と同じ場所で撮った写真額を持ち、よく見るとその額の中には、またその前年に撮った写真があります。夫婦円満のポートレートをちょっと洒落たユーモアで見事に表現しました。また来年も是非続けて欲しいものです。



調査士ノ目線部門



は一もに一賞

「300年の歴史」

武田 義彦(埼玉会)



調査士ノ目線部門



は一もに一賞

「仕事の景色」

伊藤 聡(愛媛会)

佐伯 耕平(愛媛会)

山内 良次(愛媛会)



自由部門



は一もに一賞

「悪戯な風」

栗辻 寛紀(大阪会)

入選

酒井 暢生	埼玉会	「夏やすみ」
君島 利夫	栃木会	「平和を祈り」
小池 純平	長野会	「素敵な帽子が可愛い雪ん子道祖神さん」
濱田 眞行	三重会	「三面観音海女」
藤浦 陽子	三重会	「夏はひまわり」
(事務局職員)		
薩摩 陽平	大分会	「猿と塩ビ管」
大関 克也	福島会	「ここにもあったよ!」
(会員の家族)		
古川和香子	秋田会	「猫の応援付き」
(会員の家族)		

佳作

中原 照泰	埼玉会	「東京秋天」
長沼 芳文	千葉会	「気にしてか気にしていないか。。。」
(事務局職員)		
末永 孝治	静岡会	「開通待ち」
森 光男	愛知会	「晩秋」
川北 貴利	愛知会	「にらめっこ」
池之上幸輝	福岡会	「銀杏の絨毯」
鈴木 敦	福島会	「夏の日」
佐藤 千尋	福島会	「量地三略」
(事務局職員)		

ちようさし俳壇

第433回



「君影草」

深谷 健吾

ペンションの出窓を飾り君影草
指先に蛍の匂ひ持ち帰る
帰郷して先づ裏山へ草矢打つ
生涯を黒子に徹し苔の花

当季雑詠

深谷 健吾 選

茨城 島田 操

遠目には雲と見紛ふ山桜
陽炎やこれから余生卒寿坂
俳壇が吾が生き甲斐や葱坊主
孫来たる鶯餅を携へて

茨城 中原ひそむ

花時や勿来の関をまだ越えず
湯けむりの湯本温泉花盛り
折り返すバスの終点山桜
ここからは山河へ続く山桜

山形 柏屋 敏秋

乳匂ふ孫の寢息や雛の間
憎めない孫のいたずら山笑ふ
万緑や私語厳禁の永平寺
行く春や無心に走る競走馬

岐阜 堀越 貞有

老いてより学ぶ楽しさ余花の雨
スタッフのTシャツ揃へ夏祭
一本の幹より千畳藤の棚
しゃぼん玉疲れを知らぬ子に疲れ

今月の作品から

深谷 健吾

島田 操

陽炎やこれから余生卒寿坂

「陽炎」とは、春の季語。日差しが強いため、地面付近の空気が地上にちらちらと色のないゆらめき立ち上がる現象をいう。盛んなときは、炎の物の形が揺らぐようにも、炎のようにも見えるがあまり近づくとも見えなくなる。うららかな情緒のために春の季題とされ、また形は見えてもとらえがたいものの例えにされ、そのあるかなきかの気分がいとしまれる。「余生」を「老後に残された人生」との意だけでなく「ゆったりと寛ぐ豊かで静かな人生」と理解したい。また、これからの人生を「陽炎」のような「卒寿坂」と詠まれた見事な一句である。

中原ひそむ

花時や勿来の関をまだ越えず

「花時」は、春の季語「花」の傍題。「花」といえば平安時代以降、桜の花をさすのが一般的である。「古今和歌集」の「久方の光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ」の花は桜で、花見・花冷・花簪・花衣など花を冠して桜に通わせた言葉は多い。「花時」は桜が咲いている時期をいい、「花過ぎ」は桜が散った時期をいう。広辞苑によると「勿来の関」は古代の奥羽三関の一つ。遺称地は福島県いわき市勿来の九面付近とされるが、諸説がある。「関」は関所のこと。当地の人々には桜前線が高所・難所の勿来の関を越す、即ち春の到来が気になるところ

か。遺称地を使い、春を詠みこんだ見事な時事俳句である。

柏屋 敏秋

乳匂ふ孫の寢息や雛の間

「雛の間」とは、春の季語。「雛」の傍題。三月三日は桃の節句・雛の節句と呼ばれ五節句の一つである。「雛の間」とは雛飾りされている部屋のこと。女の子が生まれると初節句の祝いとして雛飾りをして雛祭りが行われる。提句の眼目は中七の「孫の寢息」である。楽しい雛祭の宴が終わり、間もなく疲れたのか主役の孫の寢息が雛飾りの部屋からかすかに聞こえてくる。大人の寢息はうるさく気になるが、孫の寢息は気になるどころか可愛い声で気にならないのである。雛祭りの楽しい光景を活写した佳句である。

堀越 貞有

スタッフのTシャツ揃へ夏祭

「夏祭」とは、夏の季語「祭」の傍題。夏季に行われる神社の祭礼を総称して「祭」と呼び、夏の季語になっている。春や秋の祭りは「春祭」「秋祭」としての季語。日本各地の神社で夏に祭りが広く行われるのは、祓と災い除けのため。夏に活動する疫病神や悪霊をなだめ、暴れないように祈り抑えるのである。古来より祭といえば揃いの法被・羽織が定番だったが、現代では揃いのTシャツを着て参加する。ここ一年はコロナ禍で全国各地の祭りが中止。いち早くコロナ禍が終息して祭の開催を祈念します。

日本土地家屋調査士会連合会 業務支援システム 調査士カルテ Map

住宅地図・ブルーマップ
全国閲覧可能！
※ブルーマップはゼンリン保有地区に限る

著作権許諾証つき
地図印刷！

地図上で事件簿
管理ができます！

SIMA図示や
多彩な地図検索！



「業務効率化」と「成果保全・管理・活用」を同時に実現
 このシステムの活用が所有者不明土地・空き家・空き地課題への対策・対応の一手に！

新作のご紹介 より便利に使うための動画をご用意しました

1 基本編

調査情報の登録・保管・共有や机上での事前確認ができるだけでなく、業界全体での課題解決や次世代への業務継承につなげることができます。

基本的な地図の利用方法を紹介

全国の住宅地図やゼンリン整備地区のブルーマップ、用途地域の閲覧や選択した地点の距離、面積の計測を行います。さらにSIMAデータの取り込みや表示、印刷等、調査士の業務で必要な地図関連機能が一つにまとまっています。

2 利活用編

地図上に事件データを登録していくことで、地図ベースで自身の扱った情報を蓄積していくことができます。

具体的にオススメの利用方法を紹介

事件情報を登録していくことで、自身の財産である事件情報を蓄積し、土地家屋調査士としての価値向上に役立てられます。

村の家屋士が登録した事件簿を閲覧することができ、型紙に記入もできます。

こちらで公開中▶

調査士カルテ Map

アドレス▶ <https://www.zenrin.co.jp/go/ch21/kh>



詳細・お申し込みは、
日本土地家屋調査士会連合会
WEBサイトをご確認ください



日本土地家屋調査士会連合会

▼連合会 HP 右下のこちらのボタンをクリック



【お問合せ】

日本土地家屋調査士会連合会
「調査士カルテ Map」問合せ窓口
E-mail kartemap@chosashi.or.jp

土地家屋調査士名簿の登録関係

登録者

令和3年4月1日付

東京 8190 櫻井 宏昭
東京 8191 武田 徹
東京 8192 池田 直樹
東京 8193 益子 陽介
東京 8194 長谷川 孝志
神奈川 3159 矢島 祥平
神奈川 3160 高橋 正吾
神奈川 3161 木原 工
神奈川 3162 浅場 義彦
埼玉 2733 菅原 達弥
埼玉 2734 新井 庸介
埼玉 2735 齋藤 祐也
埼玉 2736 茂呂 和慶
埼玉 2737 中村 寛臣
千葉 2231 青柳 幸治
千葉 2232 根津 徹也
千葉 2233 近西 亮哉
千葉 2234 石井 康夫
群馬 1084 柳 正裕
群馬 1085 茂木 義則
静岡 1835 鈴木 健悟
静岡 1836 久保田 将央
静岡 1837 前田 陽俊
静岡 1838 大桑 利太
長野 2615 山口 大介
長野 2616 齋藤 哲宏
長野 2617 池田 愛弓
大阪 3395 柄川 元
大阪 3396 岡田 真太郎
大阪 3397 谷川 晃一
京都 926 岩切 三喜雄
兵庫 2536 青葉 洋明
兵庫 2537 荒野 功
兵庫 2538 大西 貴耶
兵庫 2539 中川 正人
兵庫 2540 三輪 恭子
兵庫 2541 熊橋 慶也
奈良 456 東 敦志
奈良 457 島田 哲
愛知 3058 伊藤 健一
石川 682 本田 国子
富山 541 塩谷 一真
広島 1918 中尾 雅寛

広島 1919 岡野 隼也
広島 1920 藤本 学
山口 989 井上 雄太
山口 990 藤江 義高
福岡 2371 林田 正行
福岡 2372 稲永 俊也
福岡 2373 長野 照平
福岡 2374 平山 慎一郎
福岡 2375 中島 義博
福岡 2376 鎌田 悠佑
鹿児島 1118 森山 勝美
青森 787 佐藤 大真
札幌 1225 川又 将平
香川 734 多田 昂史
香川 735 高橋 佑輝
徳島 522 川村 武久

令和3年4月12日付

東京 8195 矢嶋 宏大
東京 8196 白藤 幸一
神奈川 3163 辻 健太郎
埼玉 2738 岩崎 誠
茨城 1488 菊池 浩行
茨城 1489 佐藤 優樹
大阪 3398 北田 崇
大阪 3399 木原 政幸
大阪 3400 大庭 直隆
兵庫 2542 中島 義人
和歌山 447 山内 勝
愛知 3059 鵜飼 和宏
愛知 3060 松永 直樹
石川 683 八田 祥宏
熊本 1228 石山 明子
愛媛 880 高橋 一平

令和3年4月20日付

東京 8197 横溝 邦晃
三重 914 米田 道裕
大分 856 朝川 太一朗
大分 857 野添 浩正
沖縄 520 岡 正

登録取消し者

令和2年11月4日付

東京 4594 藤澤 昌一

令和2年11月5日付

静岡 1601 渥美 九二夫

令和3年2月5日付

新潟 1571 笠輪 善一
宮崎 519 佐藤 金夫

令和3年2月13日付

大阪 2312 佐藤 徒美夫

令和3年2月18日付

札幌 940 加藤 隆

令和3年2月23日付

大阪 1331 福西 日出夫
京都 355 加藤 正光

令和3年2月24日付

兵庫 1622 早野 政義

令和3年3月1日付

栃木 617 折本 茂

令和3年3月2日付

東京 1505 鹿島 哲朗

令和3年3月6日付

三重 568 山本 嘉雄

令和3年3月7日付

神奈川 1676 滝澤 輝俊

令和3年3月16日付

岐阜 784 森 光正

令和3年3月20日付

東京 6340 木村 晶

令和3年3月27日付

福島 1373 小澤 充

令和3年4月1日付

東京 8041 中山 祐介
埼玉 1149 成田 道善
埼玉 1337 新井 宏
茨城 1350 小竹 俊夫
茨城 1357 保志 孝治
新潟 1830 神保 哲夫
大阪 1917 雨森 貫一
兵庫 1500 矢野 喬司

奈良 139 中東 藏武
愛知 2328 竹内 眞澄
愛知 2861 白井 俊光
岐阜 941 林 宏昭
広島 1334 平田喜三雄
山口 623 福田 眞一
大分 618 川村順次郎
大分 795 吉田 拓也
熊本 774 河喜多正和
高知 538 矢野 誠
愛媛 858 伊藤 善行

令和3年4月12日付

東京 5707 北島 清成
東京 6054 林 昱雄
神奈川 1859 阿部 昭男
神奈川 1896 市川 陸
神奈川 2588 増崎 啓
埼玉 1513 細田 富男
埼玉 2676 鈴木 康文
群馬 622 須田 功
静岡 639 川井 賀雄
静岡 1025 平井 良武
静岡 1029 青柳 憲一
静岡 1057 立石 健一
静岡 1188 福田 義雄
静岡 1302 井上 徹
長野 2074 北村 武郎
長野 2353 小林 正二
新潟 2085 菊池 俊征
大阪 1185 福富 護
大阪 1877 木下ヒロ子
大阪 2090 林 俊彦
京都 592 高橋 雅彦
京都 637 梶中 俊良
愛知 1515 伴 伸司
愛知 1687 福田 勝
愛知 1961 乾 英之
愛知 1977 三浦 行雄
愛知 2023 祖父江美陽
愛知 2055 原田 宏三
愛知 2281 島津 昭彦

岐阜 973 田中 政光
岐阜 993 川口 常明
岐阜 1298 林 潔
福井 314 松澤 晃
福井 315 野崎 敏
富山 529 山村 尚吾
広島 1891 青木 誠
岡山 1010 安原 和弘
鳥取 366 恩部 義
島根 362 天野 幸雄
大分 658 中村 公雄
熊本 824 富田 浩吉
福島 1134 古関 恭造
福島 1414 加藤 幸雄
山形 1030 滝口 順一
岩手 425 小野寺 繁
岩手 871 佐々木吉則
秋田 881 佐藤 善仁
秋田 940 佐藤 正樹
釧路 308 堀川 清隆
香川 505 赤澤 伸次

令和3年4月20日付

岐阜 1011 金森 義和
札幌 700 高橋 眸
札幌 772 福山 正明
札幌 983 古田 和裕
札幌 1183 江良 明

■ ADR認定土地家屋調査士
登録者

令和3年4月1日付

埼玉 2702 菅原 隆宏
千葉 2212 多田 克己
千葉 2220 馬場 守
奈良 432 峯川 敦史
奈良 441 松田 幸和
奈良 451 福西 佳之
三重 874 松井 金也
山口 983 齊藤 浩信

鳥取 481 尾崎 次郎
宮城 1056 村上 正博

令和3年4月12日付

東京 8172 渡磯 春樹
東京 8173 木村 幸平
神奈川 3085 黒田 哲也
神奈川 3146 大王 拓郎
埼玉 1911 高柳淳之助
埼玉 2344 坂本 敏
埼玉 2673 高野 真一
千葉 2201 鈴木 博也
千葉 2207 勝間田篤志
茨城 1459 塚本 圭悟
茨城 1489 佐藤 優樹
静岡 1459 古田 潤
静岡 1810 岩渕 弘典
新潟 2223 阿部 和久
新潟 2226 吉田 悟史
新潟 2228 藤崎 淳二
新潟 2230 川越 誠
新潟 2231 飯吉 健司
新潟 2232 関 武
大阪 3378 村上 将
奈良 452 貫山 宙史
奈良 453 黒川 康典
富山 523 藤川 浩司
福岡 2350 平山 英一
福島 1506 名取 俊光
岩手 1167 阿部 純也
愛媛 876 福井 享

令和3年4月20日付

東京 8074 川合 健史
神奈川 2672 荒川 達也
神奈川 3125 大貫 修
神奈川 3128 小金井美和子
兵庫 2499 森田 丈司
兵庫 2522 新橋美佐子
鹿児島 1111 輦 謙太
岩手 1174 日下 雅広
岩手 1176 早野 亮輔

宮城県

「気仙沼支部」

気仙沼支部 佐藤 利恵子



『宮調通信』第83号

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大のニュースだけで1年が暮れてしまいました。

密を避けなければならないため、支部会員研修も一堂に会しての開催は出来ず、各々がeラーニングでの研修になってしまいました。1日も早く終息することを祈るばかりです。

そんな中で嬉しいこともありました。新入会員が2名あったことです。おかげで支部の平均年齢が大幅に下がりました。

気仙沼地域の大きなニュースを掲載致します。

☆気仙沼大島大橋が2019年4月7日に開通しました。愛称は鶴亀大橋です。

これで大島が離島でなくなり、住民の不便が解消され、観光にも大きな恩恵をもたらしてくれます。

この橋は、全国でも珍しい大型

のアーチ橋です。橋の長さ(アーチ支間長)は297 mと東日本で1番。全国でも、愛媛の大三島橋とならび3番目の長さを誇ります。

☆三陸沿岸道が、仙台市内から気仙沼港ICまで、つながりました。

三陸沿岸道路の小泉海岸IC～本吉津谷IC間(宮城県気仙沼市)2.0 kmが、2020年11月21日(土)に開通しました。気仙沼は陸の孤島と言われ続けましたがこれで仙台まで1時間30分位で行けます。気仙沼市民の悲願がやっと叶いました。

☆三陸沿岸道が気仙沼湾を跨ぎます。愛称はかなえおおはし(気仙沼湾横断橋)に決まりました。

市によると「かなえ」には、気仙沼湾の古くからの呼称である「^{かなえ}鼎が浦」と、夢や希望を「かなえる」の二つの意味を込めたとの事です。気仙沼らしく、東日本大震災から

の復興の象徴にもふさわしい愛称。市内外に浸透するよう、多くの人に使ってほしいとしています。

☆供用開始は3月6日と発表がありました。

国土交通省仙台河川国道事務所は三陸道気仙沼港ICから唐桑半島IC間7.3 kmまでを開通させると発表しました。これで岩手県まで繋がります。三陸道路は私たち土地家屋調査士にも嘱託登記の仕事をもたらし、多くの会員が登記を担当しました。今、その部分を走って見ますと、感慨深いものがあります。

東日本大震災から今年で満10年になります。気仙沼と仙台が近くになりましたので、復興にはまだまだの感はありますが、気仙沼において頂き、『気仙沼の今』を皆さんにぜひ見てほしいと思って居ります。



写真提供：(一社)気仙沼観光コンベンション協会



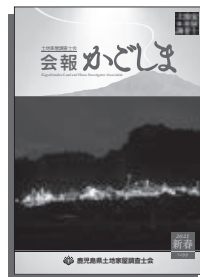
手前が「かなえおおはし」、奥に見えるのが鶴亀大橋です。

写真提供：仙台河川国道事務所

鹿児島会

「六」について

鹿児島支部 田代 悦哉



『かごしま』第99号

私の曾祖父宅に西郷隆永こと隆盛翁が泊まったと言ったら信じられますか。

曾祖母が隆盛宅に「奉公人」として働いていたことが黎明館所蔵「西郷萬留」の記載にあり、また、西南の役の際に隆盛の妹・市来琴は私の曾祖父宅に隠棲していて、琴の長男市来宗介が米国留学の際に買い求めた懐中時計を西南の役の際には隆盛翁が使用していたが、城山陥落前夜に若輩の伊集院郷士を脱出させ、最後を告げる遺品として曾祖父宅にいる琴に届けたとの手紙が(財)西郷南洲顕彰会発行の「敬天愛人」第21号に記載されています。

西南の役の際に、隆盛翁の妻イトと妹市来琴は別々に民泊隠棲していました。隆盛翁の自宅がある鹿児島市加治屋町と妹琴が隠棲した東市来町養母萩の曾祖母の父宅までの距離、それに妻イトが隠棲していた吹上町永吉坊野の仁太郎宅までの距離、そしてそれぞれが隠棲していた東市来と吹上町の距離はいずれも約22km(約6里)正三角形の位置関係にあります。

隆盛翁は、郡奉行迫田利済氏の配下として日置郡内を16歳から

26歳まで「マコテ、イッペ、コッペ、アルッサルッタ」経験から、1日の距離感が備わっていたことになります。

奈良の高野山が女人禁制であった頃、弘法大師の母は「結界」外にある五條市の慈尊院にて息子と面会しました。現在の慈尊院は老若男女が古刹を尋ね来る寺であり「結縁の寺」でもあります。

高野山までの道には高さ2m位の卒塔婆形の町石が60間ごとに立っています。そして36町(1里)ごとに同形の里石が共に立っています。町石には胎藏界180尊と金剛界37尊を表す梵字と町数が刻まれています。その慈尊院から高野山の壇上伽藍まで5里、それから奥の院まで1里で合計6里です。

太閤検地により1反は300坪に改められました。その理由は天下泰平になり生産性の向上により増税する説と、鎌倉幕府の「恩」と「給」の政策継続が困難になり知行地不足の解消を目的とした説があります。

太閤検地以前、1反は360坪でした。その10倍が1町歩(10反)

即ち3600坪です。 $\sqrt{3600}$ 坪とすれば60坪(1町)の縦横の枳になります。現在の都市部では「田」がなくなり、「1町目」でなく「1丁目」になったのかも。

町石は、60間×1間(20/11)=109.09m(循環小数)。1里については、1町歩の枳を縦6枳。横6枳の正方形36枳で36町、その36枳を縦に並べた36町が1里です。従って、1里は、(20/11)×60×36=3927.27m(循環小数)になります。

この様に、1間は6尺・1町は60間であり、人が1日で歩くのは6里が基準であったのでしょうか。

最後に、六を「りく」と呼ぶ。「りく」は「陸」に通じて平坦であるとの意味があり、「ろく」をググると「陸」「碌」と出てきます。この「碌」は「碌でなし」に使いますが、本来「陸でなし」であり平ではないと説明されています。

現在は、「碌でなし」は変異して悪意的に使用されていますが。同様に「貴様」も現在は悪意に捉えられています。言葉も劣化します。そんなことより「ロト7」では6と33を買うぞ。

2020年度「土地家屋調査士」掲載

索引

2020年4月号(No.759)

）

2021年3月号(No.770)

■制度

掲載目	掲載号	号数	区分、見出し
連合会	2020. 4	759	令和元年度土地家屋調査士試験の結果について

■報告

掲載目	掲載号	号数	区分、見出し
連合会	2020. 4	759	調査士報告方式について 第3部 オンライン登記申請の導入編への道
	2020. 8	763	第77回定時総会
	2020.12	767	令和2年度 第1回全国会長会議
	2021. 3	770	令和2年度 第2回全国会長会議
財務部	2020. 8	763	第35回写真コンクール開催
	2021. 1	768	大規模災害対策基金状況
広報部	2020. 4	759	寄附講座に関する意見交換会
	2020. 10・11	765, 766	第11回全国一斉不動産表示登記無料相談会開催報告 その1・その2
社会事業部	2020. 9・11, 2021. 1・2	764, 766, 768, 769	座談会 土地家屋調査士の司法への積極的な参加に向けて ～専門委員の魅力について～ ①～④

■取材

掲載目	掲載号	号数	区分、見出し
広報部	2020. 4	759	第20回あいち境界シンポジウム 未来のみちを考える
	2020. 4	759	境界紛争解決支援センターふくしま 創立10周年記念行事に参加して
	2020. 4	759	関西学院大学災害復興制度研究所 「2020年復興・減災フォーラム」
	2020. 5	760	3Dレーザーキャナー研修会 for 土地家屋調査士に参加して
	2020. 7	762	補助金や優遇融資等のお知らせ
土地家屋調査士会 ブロック協議会	2020.10	765	土地家屋調査士としての人命救助について

掲載目	掲載号	号数	区分、見出し
外部団体事業	2020.11	766	地籍問題研究会 第27回定例研究会
	2021. 3	770	地籍問題研究会 第28回定例研究会概要報告
	2021. 3	770	一般財団法人日本ADR協会 設立10周年記念シンポジウム ～ビジネスとしてのADRの可能性～

■挨拶

掲載目	掲載号	号数	区分、見出し
連合会	2020.12	767	令和2年を振り返って
	2021. 1	768	新年の挨拶／年頭のご挨拶
法務省	2021. 1	768	新年の挨拶／新年の御挨拶

■告知

掲載目	掲載号	号数	区分、見出し
連合会	2020. 4・9	759, 764	お知らせ 土地家屋調査士制度制定 70周年記念シンポジウムについて
	2020. 4～7, 9～12, 2021. 1～3	759～764, 770	日本土地家屋調査士会連合会業務支援システム 調査士カルテ Map
	2020. 8	763	「土地家屋調査士白書2020」発刊のお知らせ
	2020. 9	764	日本土地家屋調査士会連合会 第七十七回定時総会 法務大臣表彰状受賞者
総務部	2020. 5・6	760, 761	セコムパスポート for G-ID 土地家屋調査士電子証明書に関するお知らせ
財務部	2020. 8	763	第35回日本土地家屋調査士会連合会親睦ゴルフ大会の開催取りやめについて
研修部	2020. 5	760	【重要】令和2年度土地家屋調査士新人研修 延期のお知らせ
	2020. 5	760	eラーニングコンテンツ公開のお知らせ
	2020.12～2021. 2	767～769	ADR民間紛争解決手続代理関係業務 法務大臣認定 土地家屋調査士になろう！
	2021. 1～3	768～770	土地家屋調査士新人研修のお知らせ
	2021. 3	770	令和3年度から年次研修制度がスタート！

掲載目	掲載号	号数	区分、見出し
広報部	2020. 6	761	日調連ウェブサイト新しいコンテンツを追加しました！
法務省	2020. 7	762	法務省主唱・第70回“社会を明るくする運動” ～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～
人 事	2020. 5	760	人事異動 法務局・地方法務局
叙 勲・ 黄 綬	2020. 6	761	令和2年 春の叙勲・黄綬褒章
	2020.12	767	令和2年 秋の叙勲・黄綬褒章
外部団 体事業	2020.10	765	日本登記法学会 第5回研究大会開催のご案内

■募集

掲載目	掲載号	号数	区分、見出し
連合会	2020. 7・12	762, 767	令和3年度 明海大学不動産学部企業推薦特別入試のご案内
財務部	2020.12	767	第36回写真コンクール作品募集
	2021. 2	769	第36回写真コンクールインターネット投票
共済会	2020. 4～6, 2021. 2	759, 761, 769	団体総合生活補償保険のご案内
	2020. 7, 2021. 3	762, 770	土地家屋調査士を取り巻くさまざまなリスクその時お役に立ちます！
	2020. 9・11・12	764, 766, 767	土地家屋調査士賠償責任保険募集中
	2020.10, 2021. 1	765, 768	所得補償保険のご案内
	2020. 7・8, 2021. 1・2	762, 763, 768, 769	国民年金基金

■幹旋

掲載目	掲載号	号数	区分、見出し
広報部	2020. 5・8	760, 763	土地家屋調査士2021年オリジナルカレンダー

■その他

掲載目	掲載号	号数	区分、見出し
連合会	2020. 7	762	土地家屋調査士の徽章について
広報部	2021. 2	769	「これからの土地家屋調査士の実務と課題」 —境界紛争ゼロ宣言の実現を目指すための書籍紹介—

■制度制定70周年記念事業特集

掲載目	掲載号	号数	区分、見出し
制度制定70周年を迎えるにあたり	2020. 5	760	多くの法改正とともに 日本土地家屋調査士会連合会 副会長 鈴木 泰介
			筆特活用の新たなメニュー 日本土地家屋調査士会連合会 副会長 伊藤 直樹
	2020. 6	761	専門性の高度化への挑戦の時代 日本土地家屋調査士会連合会 副会長 小野 伸秋
			変化できる 日本土地家屋調査士会連合会 副会長 野中 和香成
土地家屋調査士制度制定70周年記念メッセージ	2020. 8	763	マンションの登記について 早稲田大学教授 鎌野 邦樹 (日本土地法学会理事長・日本マンション学会会長)
	2020. 9	764	土地家屋調査士と地籍調査 公益社団法人日本測量協会会長、 東京大学名誉教授 清水 英範
	2020.10	765	表示登記と筆界の専門家 獨協大学教授 小柳 春一郎 (地籍問題研究会代表幹事)
	2020.11	766	新たな登記制度の創造に向けて 早稲田大学名誉顧問 鎌田 薫
	2020.12	767	土地家屋調査士の明るい未来へ 弁護士 山崎 司平
	2020. 9	764	日本土地家屋調査士会連合会・ライカジオシステムズ株式会社の協定締結式
シンポジウム	2021. 2	769	土地家屋調査士制度制定70周年記念シンポジウム

■レギュラーコーナー

事務所運営に必要な知識

—時代にあった資格者であるために—

掲載号	号数	区分、見出し
2020. 5	760	第72回 「住まいの終活」のススメ～対症療法的な空き家対応からの転換
2020. 7	762	第73回 土地家屋調査士の出会う後見人、その対応
2020. 9	764	第74回 森林経営管理制度と森林境界問題
2020.10	765	第75回 オープンデータがもたらす10年後の業務の想像

自然災害と向き合う

—今、この時代に生きる土地家屋調査士として—

掲載号	号数	区分、見出し
2020.10	765	令和元年台風15号、19号及び21号豪雨における千葉会の対応について（千葉会）
2021. 2	769	震災を経験して（大阪会） 阪神・淡路大震災 被災経験からの教訓「忘れない、伝える、活かす、備える」（兵庫会）
2021. 3	770	明日への希望と使命（岩手会） 東日本大震災から10年の年を迎えて（宮城会） 被災後の復旧・復興、現状報告（福島会）

続 !! 愛しき我が会、我が地元

(NO.760まで 愛しき我が会、我が地元)

掲載号	号数	区分、見出し
2020. 4	759	Vol.74（富山会、島根会）
2020. 5	760	Vol.75（鳥取会、広島会）
2020. 6	761	Vol.76（釧路会、岡山会）
2020. 7	762	Vol.77（旭川会、徳島会）
2020. 8	763	Vol.78（函館会、香川会）
2020. 9	764	Vol.79（札幌会、愛媛会）
2020.10	765	Vol.80（青森会、高知会）
2020.11	766	Vol.81（岩手会、長崎会）
2020.12	767	Vol.82（宮城会、奈良会）
2021. 1	768	Vol.83（秋田会、和歌山会）
2021. 2	769	Vol.84（山形会、鳥取会）
2021. 3	770	Vol.85（福島会、島根会）

ネットワーク 50

掲載号	号数	区分、見出し
2020. 6	761	富山会／熊本会
2020. 7	762	鳥取会
2020.11	766	東京会／長野会
2020.12	767	山口会

公嘱協会情報

掲載号	号数	区分、見出し
2020. 5	760	公嘱協会情報 vol.143
2020. 8	763	公嘱協会情報 vol.144
2020. 9	764	公嘱協会情報 vol.145
2020.11	766	公嘱協会情報 vol.146
2021. 1	768	公嘱協会情報 vol.147
2021. 3	770	公嘱協会情報 vol.148

「地名散歩」

財団法人日本地図センター客員研究員 今尾 恵介

掲載号	号数	区分、見出し
2020. 4	759	第97回 大通・上通・下通—「通り」の地名
2020. 5	760	第98回 堺・境目・傍寺……境界の地名
2020. 6	761	第99回 武蔵、備前……国号にちなむ地名
2020. 7	762	第100回 百の地名—ひゃく・もも・どう
2020. 8	763	第101回 早稲田になかった早稲田大学、青山に逃げられた青山学院
2020. 9	764	第102回 地名と現況が食い違うところ
2020.10	765	第103回 なぜか末尾に「新」のつく地名
2020.11	766	第104回 ナチス時代から再統一まで……変貌するワイマールの通り名
2020.12	767	第105回 都の字は「当て字地名」に好まれる
2021. 1	768	第106回 意外に古い全国の「新町」
2021. 2	769	第107回 方言漢字をご存じですか？
2021. 3	770	第108回 「町という名の村」

土地の表示に関する登記の沿革

都城市代表監査委員

一般社団法人テミス総合支援センター理事 新井 克美

掲載号	号数	区分、見出し
2020. 4	759	土地の表示に関する登記の沿革 (16)
2020. 5	760	土地の表示に関する登記の沿革 (17)
2020. 6	761	土地の表示に関する登記の沿革 (18)
2020. 7	762	土地の表示に関する登記の沿革 (19)
2020. 8	763	土地の表示に関する登記の沿革 (20)

令和元年～2年度研究所研究中間報告

掲載号	号数	区分、見出し
2020.10	765	研究テーマ2
2020.11	766	研究テーマ4
2020.12	767	研究テーマ1
2021. 1	768	研究テーマ3

調査士カルテ Map 通信

掲載号	号数	区分、見出し
2020. 5	760	調査士カルテ Map の「座標」で手軽にバーチャル現地調査を！
2020. 6	761	調査士カルテ Map について
2020. 7	762	現場管理業務が将来の仕事の質を極める
2020. 9	764	所有者探索の強力なツールとして
2020.10	765	調査士カルテ Map の地図機能の活用について
2020.11	766	所有者不明土地問題への活用術
2020.12	767	法令遵守地図機能そして今後の課題
2021. 1	768	もっと便利に活用してみよう
2021. 2	769	使ってみないとわからない！
2021. 3	770	安心な情報登録方法

全調政連

掲載号	号数	区分、見出し
2020. 6	761	第20回全国土地家屋調査士政治連盟定時大会
2020. 9	764	全国土地家屋調査士政治連盟設立20年を迎える
2020.12	767	政治連盟 我々世代の役割
2021. 3	770	全国土地家屋調査士政治連盟設立20周年を迎えて

事務局紹介

掲載号	号数	区分、見出し
2020. 5	760	日本土地家屋調査士会連合会
2020. 6	761	岐阜会、京都会、大分会、茨城会、広島会
2020. 7	762	東京会、神奈川会、三重会、兵庫会、福島会
2020. 8	763	愛媛会、釧路会、青森会、愛知会、埼玉会
2020. 9	764	千葉会、大阪会、福井会、沖縄会、高知会
2020.10	765	栃木会、秋田会、石川会、宮崎会、旭川会
2020.11	766	群馬会、奈良会、富山会、鹿児島会、徳島会
2020.12	767	静岡会、岩手会、山口会、熊本会、函館会
2021. 1	768	山梨会、滋賀会、岡山会、長崎会、香川会
2021. 2	769	長野会、山形会、鳥取会、佐賀会、札幌会
2021. 3	770	新潟会、和歌山会、島根会、福岡会、宮城会

会長レポート

全号にわたり掲載

会務日誌

全号にわたり掲載

ちょうさし俳壇

選者 深谷 健吾

全号にわたり掲載

土地家屋調査士名簿の登録関係

全号にわたり掲載

索引

掲載号	号数	区分、見出し
2020. 6	761	2019年度「土地家屋調査士」掲載索引



広報キャラクター「地識くん」

編集後記

～初心～

会報No.763号からNo.772号まで「編集後記」を「編集だより」として、土地家屋調査士制度制定70周年の記念を踏まえて広報部役員、広報員のリレー形式でお伝えしてきましたが、今月号から初心に返り「編集後記」としてお伝えさせていただきます。

今年も6月に入り、本格的な梅雨の季節になりました。雨が多く、蒸し暑く、洗濯物も乾かない、外出の自粛など、あまり過ごしやすいいえませんが、この時期の雨量によって作物が生育し、やがて実り多き物になることでしょう。そんな梅雨の季節もあと少し。もうすぐ夏色の景色や香りが楽しめる季節へと移り変わります。その時は初心に立ち返り、季節らしさを体で感じ、素敵な風景や笑顔を収めるべく、シャッターを押してみたいはかがですか？

今月号は「第36回写真コンクール開催」を掲載いたしました。たくさんのご応募をいただいた作品の中から、各入賞作品をカラーページでお届けしてお

ります。木村恵一先生が総評の中で「ファミリーな楽しい写真が多かったことも今年の特徴」と記されています。心機一転、皆さんに癒しと元気が届いていることを切に願います。

さて、昨年同様にコロナ禍の影響で4・5月に開催された支部総会、各土地家屋調査士会総会におかれましては、会務運営、会員の皆様の環境も非常に厳しい状況の中で執り行われたことと思います。この会報が届く頃、日調連第78回定時総会が開催される予定です。本年度は役員改選を含む、大切な議案が提出されています。内容については、開催後に会報でお伝えいたします。

役員改選に伴い、新広報部へ移る時期となりました。今月号の編集後記を記しながらこの2年間を振り返り、いろいろなことを思い出しています。会報編集長として初心を忘れず最後まで職務を遂行いたします。

広報部理事 高橋正典(茨城会)

土地家屋調査士

毎月1回15日発行

定価 1部 100円
1年分 1,200円
(送料別)

(土地家屋調査士会の会員については毎期の会費中より徴収)

発行者

会長 國吉 正和

発行所

日本土地家屋調査士会連合会[®]

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町一丁目2番10号 土地家屋調査士会館

電話：03-3292-0050 FAX：03-3292-0059

URL：https://www.chosashi.or.jp E-mail：rengokai@chosashi.or.jp

印刷所

十一房印刷工業株式会社